

# 城北まちづくり通信

2021/10/15

22号

城北まちづくり協議会  
事務局：城北地区公民館



大当たり!!!

## 町内会合同主催で「まちづくり“絆”抽選会」を 10月30日(土)・31日(日)に実施します!!

「城北まちづくり協議会」は、鳥取市（行政）と地域が協働して“まちづくり”を推進することを目的に、2009年に組織されました。

本日、紹介する取り組みは、町内会が連携して取り組むことで、より大きな効果が認められる事業として、現在、進めている「まちづくり“絆”抽選会」についてお知らせします。

ところで、鳥取市が町内会に対して、地域コミュニティの充実・強化を目的に、補助金を交付している事業があります。『鳥取市地域コミュニティ活動支援事業』といいます。

コロナ禍にあって、町内会独自の事業申請が難しい状況にあります。そのような状況下で、「城北まちづくり協議会」が機能しました。城北地区自治連合会（町内会長会）で、下記の内容を協議し、実施する運びとなりました。

### 【事業目的及び効果】

- ① 地域イベント（城北文化祭）と連携して抽選会事業を展開することで相乗効果を生み、多くの町内会員・町内会未加入者が足を運び、住民同士の顔の見える人間関係を構築する機会にする。
- ② 「通いの場」・「交流の場」・「学びの場」・「社会とつながる場」としての公民館の役割を、普段は足を運ぶことの少ない多くの住民が理解することで、“安全・安心、元気で楽しく心地よく住んで良かったと実感できるまちづくり”を推進することが出来る。

鳥取市へ「コミュニティ活動支援事業」を町内会合同で申請して、総額約50万円、2000人程度の参加者を想定した抽選会を開催出来ることになりました。奮って参加いただきますようお願いいたします。

（＊詳細は、全戸へ配布される“城北文化祭開催チラシ”をご覧ください。）

また、今年度より2年間、鳥取市の新規事業である「地域の“話し愛・支え愛”推進事業」のモデル地区指定を受けたことはお知らせしました。（まちづくり通信12号）

モデル事業では、担当者が地域に出向き、そこで発せられたSOSを受け止め、必要なサービスや情報を届ける支援につなげる取り組み（アクト）をしています。これまでも「マルシェ」・「子育てサークル」等に、担当者が参加して、「何でも相談」を実施してきました。



30・31日に開催する「まちづくり“絆”抽選会」当日も、「何でも相談」を実施します。子ども・障がい・高齢・生活困窮といった個々の支援機関が、チームとして包括的に相談者（利用者）の支援にあたる重層的支援体制整備事業の一環として実施します。お気軽にご相談ください。

相談がある方は、公民館事務所に声を掛けていただくとありがたいです。

鳥取市社会福祉協議会 地域福祉課（西村さん・宮川さん）が相談をお受けします。